

平成24年度進行管理・評価シート
佐川町歴史的風致維持向上計画（平成21年3月11日認定）
（最終変更平成23年8月22日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 庁内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 佐川町街なみ景観条例に基づく措置 2
2 土地利用に関する今後の措置 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 まちの駅活性化事業(協議会活動助成事業) 4
2 牧野富太郎生家再生事業 5
3 浜口邸買取り・整備事業 6
4 牧野公園整備事業 7

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財の保存・活用について 8
　　文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について
2 文化財の保存及び活用の普及・啓発につし 9
3 文化財の防災について 10
4 埋蔵文化財の取扱いについて 11
5 文化財の修理について 12
　　文化財の保存・活用を行うための施設について
　　文化財の周辺環境の保全について

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 富太郎の生家 近く着工「景観整備地区の観光拠点」 13

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4) 14

進捗評価シート

(様式1-1)

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成24年度		
		現在の状況		
府内会議及び佐川町歴史的風致維持向上計画協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	佐川町歴史的風致維持向上計画を円滑かつ着実に遂行するために、計画推進体制(事務局と審議組織との連携)を強化し、歴史的風致維持向上計画協議会の活動をサポートしていく。』			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
円滑な事業推進を図るため、府内会議(総務課、産業建設課、教育委員会事務局)9回、佐川町歴史的風致維持向上計画協議会を3回開催した。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	府内の連携を強化し、協議会での評価・意見を実施する体制を整えるために、府内会議(総務課、産業建設課、教育委員会)を頻繁に開催し、円滑な事業推進に努めた。			
状況を示す写真や資料等				
 <p>府内会議 (総務課、産業建設課、教育委員会)</p> <p>平成24年 5月10日 平成24年 6月18日 平成24年 7月17日 平成24年 8月10日 平成24年10月11日 平成24年11月 1日 平成24年12月21日 平成25年 1月24日 平成25年 3月22日</p>				
府内会議の様子				
 <p>佐川町歴史的風致維持向上計画協議会</p> <p>第1回 (平成24年7月17日) ・平成24年度の当協議会の活動について</p> <p>第2回 (平成24年9月22日) ・「ぶらっと備中・町並みゼミ」での勉強会</p> <p>第3回 (平成25年3月26日) ・平成24年度協議会収支及び事業報告について ・平成25年度協議会予算及び事業計画(案)について ・平成24年度歴史まちづくり整備事業計画について</p>				
第2回 佐川町歴史的風致維持向上計画協議会「ぶらっと備中・町並みゼミ」での勉強会の様子				

進捗評価シート

(様式1-2)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況		
佐川町街なみ景観条例に基づく措置		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容				
佐川町街なみ景観条例では、景観の形成を図るために必要な地図を景観形成特定地区として指定することとし、同地区内における次の行為をしようとする者は、あらかじめその内容を町長に届け出なければならないとしている。当該届出があった場合は、町長は助言又は指導ができ、及び技術援助又は経費の助成ができると定めている。ア 建設物等の新築、増築又は改築 イ 建築物等の外観の模様替え又は色彩の変更 ウ その他景観形成に影響を及ぼすおそれがある行為で規則で定めるもの 現在、景観形成特定地区として指定している地区は、重点区域とほぼ重なる区域である。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
現行の街なみ景観条例は、当町が街なみ環境整備事業(平成5年から10年間)を実施した当時制定したもので、内容的に現況と合致しない点も多々ある。 そのため、平成24年度は歴史まちづくり法と景観条例との整合を図る観点から、歴史的風致維持向上計画の重点区域の区域に合わせ、景観条例で定められている景観形成地区の区域の変更について検討を行った。 なお、景観計画等に基く届出など、制度運用の実績はなし。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	この条例は街なみ環境整備事業の推進に対応したものであることから、歴史的風致形成建造物の修理等に対応できる内容に改正が必要。			
状況を示す写真や資料等				

進捗評価シート

(様式1-2)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

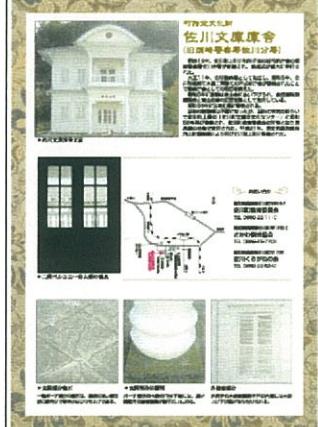
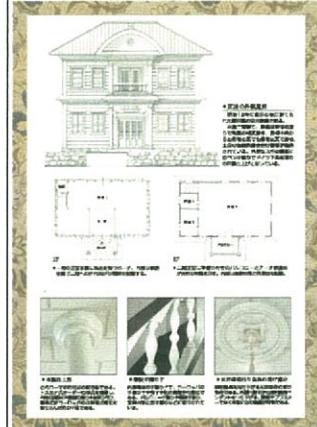
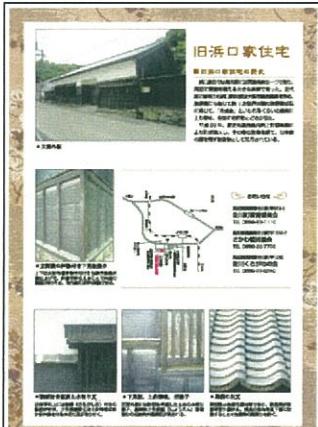
項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況
土地利用に関する今後の措置		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	街なみ景観条例及び景観形成基準の見直し、景観形成特定地区の重点区域への再指定、及び都市計画の高度地区設定並びに景観計画の策定等の実施を検討する。また、「4次総合計画」の土地利用構想を詳細にし、ゾーニングの精度を高める土地利用計画を検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
佐川町は非線引き都市計画区域であり、用途地域の指定がされていない。重点区域のまちなみを維持向上するために、本計画期間内に景観条例及び景観形成基準の見直しを行い、土地利用構想を詳細にした土地利用計画の策定を行うため、平成24年度は「第4次総合計画」の土地利用構想の検討のため、上町地区等の土地利用状況について現況調査などを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域の土地利用の更なるゾーニングが可能かの検討が必要。このため、当該修理に係る意匠基準及び補助制度について検討する。	
状況を示す写真や資料等		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況		
まちの駅活性化事業（協議会活動助成事業）		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間 平成21年度～平成25年度				
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)				
計画に記載している内容	歴史的街なみを保全し、活気と潤いのあるまちづくりを進めるために、地域の文化的資源を再確認し、良好な街なみ形成方策等に係る勉強会、見学会、資料作成、コンサルタント派遣等を実施する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
維持向上計画の基本方針の一つである住民参加による歴史的風致の維持向上を図るために、情報発信のツールの一つとして浜口邸、佐川文庫庫舎の文化財のパンフレットを10,000部作成した。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備された関連施設等の周知が不十分であり、今後、町内のみならず、県内外の情報発信拠点で作成したパンフレットの配布等行っていく。			
状況を示す写真や資料等				
 				
佐川文庫庫舎パンフレット(表)				
 				
旧浜口家住宅パンフレット(表)				
旧浜口家住宅パンフレット(裏)				

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況		
牧野富太郎生家再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成24年度～平成25年度			
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)			
計画に記載している内容	同地区出身の世界的植物学者であり、「文教のまち」を象徴する人物の一人である牧野富太郎の生家の母屋と付属屋を、生誕150年(平成24年(2012年))記念事業の一環として、生誕地に再生する。加えて、同施設を博士関係の資料を展示する学習館として整備する。			
定性的・定量的評価(自由記述) <small>(※定量的評価は可能な範囲で)</small>				
牧野富太郎生家を木造建て再生整備(外観は当時の写真資料に基づき模して建設、室内は資料展示室及び学習室)し、施設名「牧野富太郎ふるさと館」として、平成25年4月24日にオープンした。 牧野富太郎生家再生 1棟 延べ床面積:127.11m ²				
進捗状況 <small>※計画年次との対応</small>	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施設を牧野資料の展示する学習館として活用する。来館者の学習機能を高めるための展示物の高質化やソフトの充実が必要であることから、平成25年4月に営業開始予定の「さかわ観光協会」と連携したソフト充実の検討を進めている。			
				
施工前は公園として利用していた。				
				
外観は当時の写真を元に、生家の面影を再生し、室内は展示室及び学習室として整備。				
		展示室		
		学習室		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

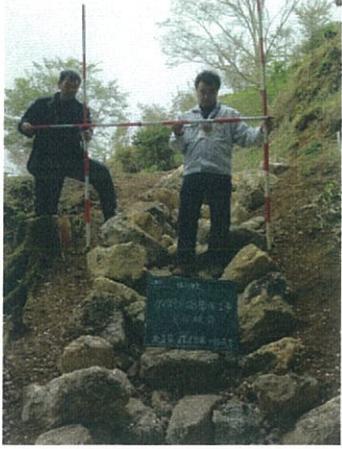
項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況
浜口邸買取り・整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～平成24年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載 している内容	歴史的風致形成建造物指定予定の浜口邸の買取り、老朽化により崩れている塀の修理、内外装の整備、耐震補強工事を行い、並びに旅の宿施設としての機能を付加する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
浜口邸の塀の修理、内外装の整備、耐震補強工事を実施し、歴史的風致地区の核となる施設として整備がなされ、今後の集客にむけた環境が整ってきている。(平成25年5月31日完成) 浜口邸 1棟 延べ床面積:277.99m ²		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備を進める上で、想定以上の老朽化が発見されたことにより、工事を一時中断。それを所以として工事が予定より遅れている。対応方策として設計及び工事業者と調整を実施し、引き続き歴史的風致の重点地区の核となる施設として整備を進める。	
状況を示す写真や資料等		
施工前		
施工後		

進捗評価シート

(様式1-3)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況
牧野公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成21年度～平成25年度		
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容 牧野富太郎博士の顕彰を図るため、歴史的風致形成建造物に指定予定の牧野公園に遊歩道の整備と博士由来または緑の深い植物並びに秋期も楽しめる紅葉樹等を植栽し、憩いと学習の場として公共公益施設の高質化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
公園利用者の利便性と公園景観に配慮した遊歩道を整備し、牧野博士に由来する植物の生育環境整備を実施したこと、植物に親しみやすくなった。(平成25年3月15日完成)遊歩道整備 10m		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来町者が公園を散策する憩いの場として施設の高質化を図っている。牧野博士ゆかりの植物を植栽することにより、公園を学習の場として活用するためのソフトの充実が必要であることから、地域住民組織を中心に牧野博士関連植物の植栽管理と植物ガイドの養成セミナー等を実施してゆく。	
状況を示す写真や資料等		
施工前		
施工後	<p>施工前</p>  <p>施工後</p> 	

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況		
文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	現在、文化財の保存・活用に携わる団体は積極的、かつ地道な活動を展開しており、まちづくり行政等との連携も十分にとれている。 今後も、こうした活動の前進を更に目指し、行政との連携も一層強化する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>佐川文庫庫舎は、NPOを中心とした多彩な催しや、住民によるサークル展などが実施された。 特に当該年度は牧野富太郎博士の生誕150周年にあたることから、牧野博士にちなんだ植物標本教室や写真展などが初めて催された。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>NPO法人との協働は、順調に進んでいるが、他と連携して参加者が回遊するまでに至っていない。今後は、次年度内に設立される佐川町観光協会(仮称)とも連携し、取り組みを図っていくことが課題である。 今後は観光ボランティアガイドとの連携の強化を中心にして、さらに町外からの来聴者の増加につなげるよう、歴史的建造物の活用をさらに図ることにしている。</p>			
状況を示す写真や資料等				
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>写真展「花の精・森の精」(5月14日～20日) 主催:写真サークル「ブナの会」 来訪者:150人 牧野博士が四国の山野を歩き採取した博士ゆかりの植物、約50点の写真が展示された。</p> </div> </div>				
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>酒蔵ロード劇場2012(7月28日) 主催:NPO佐川くろがねの会 来訪者:2,000人 牧野博士が四国の山野を歩き採取した博士ゆかりの植物、約50点の写真が展示された。佐川町上町周辺の酒蔵と古い街並みの白壁に光の切り絵を映し出すイベントが開催された。今年は牧野博士や植物をモチーフにした幻想的な作品が数多く映し出され多くの観客を魅了した。</p> </div> </div>				
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>夏休み子ども標本教室(8月3日) 主催:佐川町、佐川町教育委員会 参加者:21人 牧野植物園から講師を招き、子ども標本教室を佐川文庫庫舎で開催した。</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;">  </div> </div>				

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況		
文化財の保存及び活用の普及・啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	文化財の価値を町民がより理解し、保存や活用の意識を高めるため、学校教育では町独自の文化財教育・文化財見学会を実施し、社会教育等では文化財や町の歴史に関する教室の開催、分かりやすいパンフレットの作成による啓発活動などを行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>黒岩小学校では卒業生(中学生)も含めて、「太刀踊り子ども教室」を開催し、高知県の無形文化財である「佐川の太刀踊り」の継承に取り組んだ。児童らは、地域の行事や運動会などを通じて成果を披露し、地域の伝統芸能としての位置づけを高めた。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>過去の歌詞と現在歌われている歌詞とに、かなりの違いが見られたため正確な資料の作成を検討しているが基本的に口伝のため困難な状況になっている。 今後も引き続き文化財保護審議委員等による調査を行っていく。</p>			
 				
<p>▲ 每年11月3日に行われる踊りの奉納にも子ども達が招かれ、踊りを披露している。</p>				

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況		
文化財の防災について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	現在も実施している所有者、地域住民、消防署、地区消防団が一体となった防火訓練も更に質量共に充実したものとしていく。加えて、「文化財防火デー」には、上記住民・団体及び文化財保護審議会委員等が各地区の文化財においての防火訓練を実施しており、今後も継続していく。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>重点区域内には自主防災組織が設立されており、地域の防災についての意識も高く、地域でも住民が主体となって、消防署、消防団とともに1月26日に訓練を実施した。</p> <p>また、1月26日の文化財防火デーにあわせて文化財パトロールなど、あらゆる機会を通じて、文化財の保存や防災の大切さについて周知を行った。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>南海地震の発生が予測されていることもあり、所有者や関係者は防に対する意識が高まっている中、今後は、建物の耐震性を高めていくことが検討課題となっている。</p> <p>今後は、町財政担当部局と調整しながら、耐震化について優先順位を定め、順次実施するよう検討する。</p>			
状況を示す写真や資料等				
 <p>加茂神社での防災訓練</p>				
				
<p>文化財防火デーや防災教室など、可能な限り対象世代を問わず啓発を行った。</p>				

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

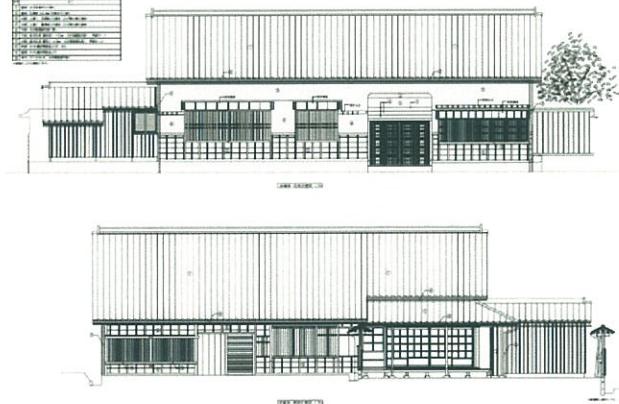
項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況
埋蔵文化財の取扱いについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載 機会あるごとに埋蔵文化財の持つ意義や重要性及び所在地を町広報やその他の方法により広く住民に周知している内容		する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>重点区域内唯一の埋蔵文化財、佐川城址については、年1回文化財審議会委員(巡回員)とともにパトロールを実施した。</p> <p>平成24年度も10月1日に実施済みで、写真、目視等により保存状態に変化がないことを確認した。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<p>▲ 現在のところ保存状態に問題はなく、石積み(写真右側○印箇所)にも異常はみられない。</p>		

進捗評価シート

(様式1-4)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 平成24年度	現在の状況
文化財の修理について 文化財の保存・活用を行うための施設について 文化財の周辺環境の保全について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理及び整備については、定期的な清掃及び点検確認を行い、文化財巡視員による定期的なパトロールを実施する。 文化財の保存・活用を行うための施設は、財政状況との調整を図り、施設の改善計画を立て課題解消に向けて具体的に着手する。 文化財の周辺環境の保全については、まちづくり行政と文化財行政がより連携を強化し、文化財の周辺環境の保全を図っていくこととする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
浜口邸並びに牧野富太郎生家(再生事業)はそれぞれ設計業務を委託し、当初の予定からは遅れたが、浜口邸は平成25年5月31日、牧野富太郎生家は平成25年4月23日にそれぞれの施設が完成した。 また、その他、緊急な修理の必要が生じた文化財はなかった。 NPO法人佐川くろがねの会においては、イベント開催だけでなく、観光ガイドや自主事業の開催、町内の歴史的建造物の模型展示の常設など、引き続き精力的に活動した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在のところ、概ね良好な保存がなされているが、今後、大規模な修繕等が生じることも予測され、その際の支援策等についても検討していかたい。	
状況を示す写真や資料等		
 <p>▲ 浜口邸完成図</p>		
 <p>▲ 同牧野富太郎生家再生事業</p>		

進捗評価シート
評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

(様式1-5)

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 平成24年度 掲載紙等
富太郎の生家 近く着工 「景観整備地区の観光拠点」	11月19日	高知新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
牧野富太郎の生家の再生について、新聞に掲載され、町民のみならず、県内に広報が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成24年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:佐川町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成24年7月17日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none">・歴史的風致維持向上計画に基づき、着実に事業を実施しなければならない。・整備する(した)個別施設の運営・管理について、活用を考慮して住民グループ等との協働による取り組みを進めるべきである。・風致計画に沿った整備のほかに、地区全体が歴史的風致をもしだすための整備計画を策定し、観光の周遊性を高めることが必要である。	
(個人意見)	
<ul style="list-style-type: none">・文庫庫舎の瓦を浜口邸で活用できないか。・浜口邸壁を残してほしい。・西谷側から金峰神社に上がる道を直してほしい。	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none">・計画の着実な推進が図れるよう組織体制を整える方針。・施設の指定管理も考慮し、住民グループ等との協働を進める。・風致計画に付随した町独自の計画を策定し、風致向上に繋げる。	